

科学イノベーション挑戦講座第5回 「全国受講生研究発表会に挑戦する」



電車ながっ！



1日目の交流会の様子

2日目のポスター発表の様子。前日遅くまで準備しました。



答える係と記録の係に別れる。チームワークが光ります。



発表が終わって。つかれた～



本実施では、引率者として本教育学研究科2年の小林君が引率者として参加してくれました。小林君と内宮中学校教諭の武市先生の引率によって、生徒たちは豊かな学びを得ることができました。ありがとうございます。

2013年11月9～10日の2日間、次世代科学者育成プログラムの「全国受講生研究発表会」が東京で開催されました。「科学イノベーション挑戦講座」からは5名の中学生(勝山中学校、久米中学校、城西中学校、東中学校、三津浜中学校から1名ずつ)が参加しました。

研究内容は、かれらが独自行った研究であり、発表するためのポスターは中学生たちが構成から考えて自作しています。すべて自分たちで行ったのは、かれらにとって良い経験になったと思います。

1日目は開催式で講座を卒業したOBOGの話を聴き、先輩がなぜ科学者を志したのかを聴く機会を得ました。その後は交流会で、全国の理科好きな高校生、中学生と交流しました。ここで知り合った友人同士が、10年後一緒に研究しているかもしれないと思うと、おもしろいですね。

2日目のポスター発表では最初こそ戸惑った様子でしたが、素晴らしい上達ぶりを見せて、最後は堂々とした発表になっていました。